

”ため池支援センターだより” vol.2 R5.3.31「奈良県ため池支援センター」

近年、集中豪雨が頻発し、土砂災害も増加の傾向にある中、奈良県内でもため池の決壊等大変危惧される場所があります。また、南海トラフの地震予測でも今後30年間に発生する確率が70%とされており、県内でも最大震度6強と予測されています。地震大国の日本ではいつ、どこで大地震が発生してもおかしくない状況であり、ため池の適正な管理が重要であります。

このため、安心安全を確保する対策が急務となっておりますが、ため池管理者の高齢化や土地利用の変化から管理・監視体制の弱体化が見受けられることから、ため池の在り方を含め再考する必要があると考えます。

そこで、管理に携わる皆さんからの相談にお応えする「奈良県ため池支援センター」をご活用頂くようお願い致します。

【ため池管理者の適正管理をサポートします】

● 適正管理の手法や補修・補強等の助言、啓発活動の実施 ●

『令和4年度の取り組み実績』

①ため池の相談対応

・ため池に関する相談窓口を設置し、補修等についての相談を38件受け付けました。

農業用ため池に関する相談窓口
(奈良県土地改良事業団体連合会)
受付 毎週火・木曜日 10:00～12:00、13:00～16:00
連絡先 ☎ 0744-29-1310

②ため池の情報管理

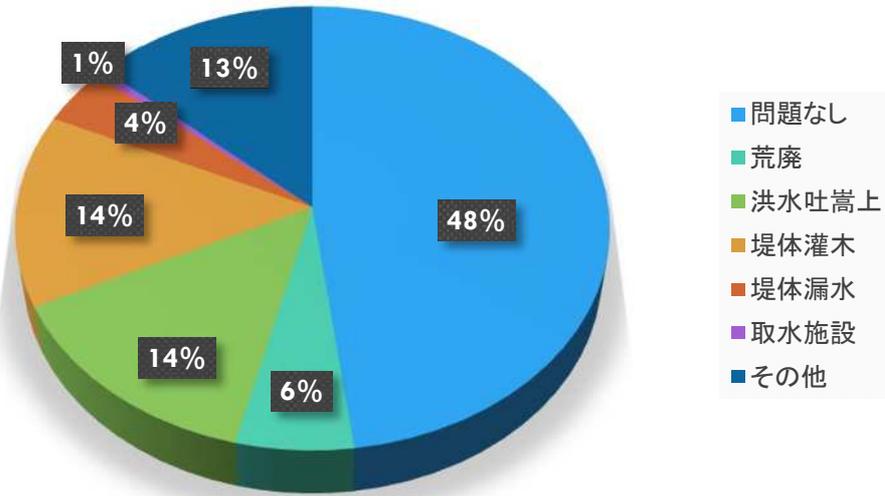
・市町村等が行うため池パトロール結果(171箇所)や相談対応(38件)の状況を農地地図情報システムを用いてデータベース整理を行いました。

③普及啓発活動

・令和3年度より奈良県土地改良事業団体連合会のホームページ上にため池支援センターのページを開設しています。
・前年に引き続き”ため池支援センターだより”を発行し、多様な情報を発信して参ります。

令和4年度 ため池パトロール実施状況

ため池パトロール結果



(箇所)

問題なし	荒廃	嵩上げ	堤体灌木	堤体漏水	取水施設	その他	計
82	10	24	24	7	1	23	171

注)ため池パトロールの結果、最重要課題を記載。



堤体天場及び外法状況(荒廃)



問題点・堤体異常把握不可、堤体内部の空洞化



洪水吐への堰板及び土のうによる嵩上げ



問題点・堤体決壊、異常漏水が発生する可能性

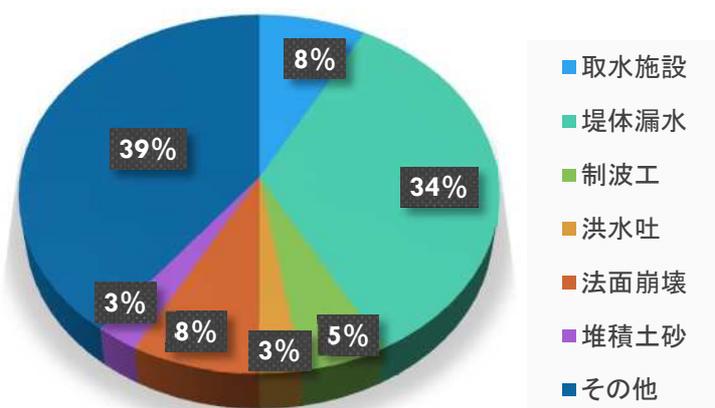
令和4年度 ため池支援センター相談状況

相談件数



	相談件数
市町村	20
水利組合・改良区	14
個人他	4
合計	38

相談内容



	相談件数
取水施設	3
堤体漏水	13
制波工	2
洪水吐	1
法面崩壊	3
堆積土砂	1
その他	15
合計	38

まとめ

令和4年度奈良県ため池支援センターでは、県内市町村171池のため池パトロール及び38池の相談を受付け対応させて頂きました。

その結果、パトロールでは前年より荒廃してきているため池が多く見受けられました。ため池の被害を最小限に抑えるために、ため池管理者が日常の見回りや点検、補修など適切に行い、ため池を健全な状態で維持することが重要です。

ため池点検、補修のポイントについて奈良県監修の「ため池管理マニュアル」を参考にされると共に、「奈良県ため池支援センター」にお気軽にご相談下さい。